

1928

風土・民芸・聴竹居

話し手：川島智生（建築史家）・松隈章（竹中工務店・聴竹居倶楽部代表）

聞き手：鞍田崇（総合地球環境学研究所上級研究員）

2009.12.16 wed 15:00-17:00



総合地球環境学研究所（地球研）・講演室

聴講無料・申込不要

1928

風土・民芸・聴竹居

1928—哲学者、和辻哲郎がはじめて「風土」について講義した1928年。
1928—「民芸」運動のリーダー、柳宗悦がはじめて理想の住空間を実現した1928年。
1928—建築家、藤井厚二が環境共生住宅の原点ともいべき「聴竹居」を建てた1928年。
風土・民芸・聴竹居—あたらしい生活のカタチをもとめた、同じ年の三つのできごと。

プログラム

- 15:00 趣旨説明「1928 哲学的考察—和辻哲郎と風土」…………… 鞍田 崇（総合地球環境学研究所上級研究員）
15:15 「美しい生活のかたち—民芸における建築」…………… 川島智生さん（建築史家）
15:45 「環境とともに暮らす—藤井厚二と聴竹居」…………… 松隈章さん（竹中工務店・聴竹居倶楽部代表）
16:15 ディスカッション…………… 川島智生さん×松隈章さん（進行：鞍田）
16:45 フロアとの質疑

川島 智生 KAWASHIMA Tomoo 建築史家

1957年広島県生まれ。京都工芸繊維大学大学院造形工学研究科博士課程修了。専門は日本近代建築史。神戸女学院大学などで教鞭を取るかわら、各地で忘れられた建築や建築家の発掘をおこない、再評価を試みてきた。民芸運動の最初の建築「三国荘」が現存することを発見したことで知られ、「International Arts and Crafts」展（ロンドン・V & A美術館、2005）・「生活と芸術—アーツ&クラフツ展」（京都国立近代美術館／東京都美術館／愛知県美術館、2008-09）では、三国荘の復元展示にも関わった。主な著作に「日本民藝館の建築（上）—柳宗悦の創作作品あるいは長屋門へのオマージュ」（『民藝』682号、日本民藝協会）、「最初の「民藝館」三国荘—「民藝建築」の出発点」（『生活と芸術—アーツ&クラフツ展』図録、朝日新聞社）、「日本インターナショナル建築会の遺したもの」（『日本インターナショナル建築会・復刻解説本』、国書刊行会）、「観光のまなざしの展開」（共著、春風社）など。

松隈 章 MATSUKUMA Akira 竹中工務店・聴竹居倶楽部代表

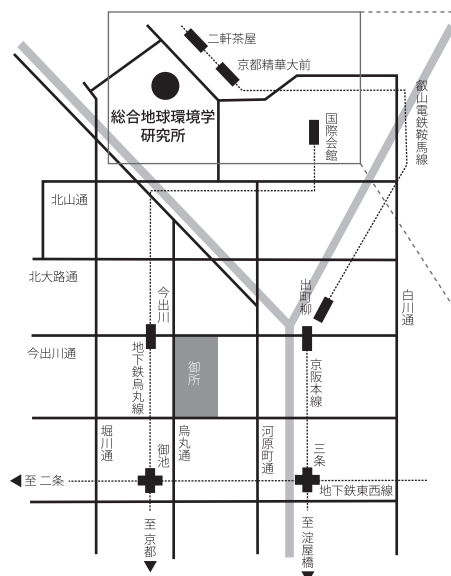
1957年兵庫県生まれ。北海道大学工学部建築工学科卒。竹中工務店大阪本店設計部、本社・企画室、本社・地球環境室を経て、現在は大阪本店設計部情報企画グループ・課長及びGALLERY A4企画マネージャー。本業である設計業務のかたわら、近代建築の保存活動にも精力的にたずさわリ、「関西のモダニズム建築20選展」（芦屋市立美術館、2001）及び「文化遺産としてのモダニズム建築docomomo100選展」（東京・松下電工汐留ミュージアム／大阪市立住まのミュージアム、2005-06）では実行委員をつとめる。「聴竹居」については、いち早くその価値を認め、その実態があまり知られていない当時から保存活動に取り組んできた。2008年6月より地元の大山崎町の有志と共に「聴竹居倶楽部」を結成、代表を務めている。主な著書に、『環境と共生する住宅 聴竹居実測図集』（共著、彰国社）、『文化遺産としてのモダニズム建築docomomo100選展』図録（共著、新建築社）など。

■ 関連企画

「聴竹居」と藤井厚二展
—日本の気候風土に根ざした住宅の追求—
開催中 ～ 2009.12.24. (fri)
GALLERY A4（竹中工務店東京本店1F）tel:03-6660-6011
<http://www.a-quadjp/main.html>

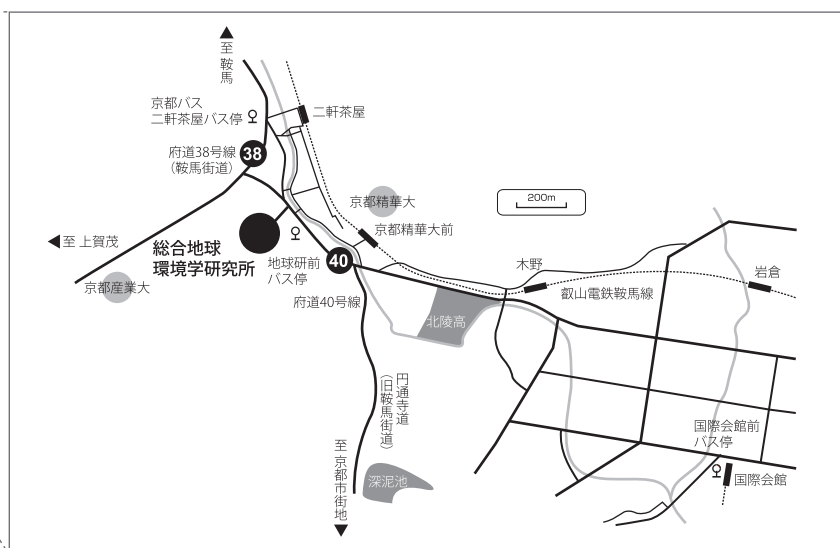


ACCESS MAP



- JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」より
京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館駅バスターミナル2番乗場から京都バス40系統（京都産業大学ゆき）もしくは50系統（市原ゆき）にて（約10分）、「地球研前」下車スグ。
- 京阪「出町柳駅」より
叡山電鉄鞍馬線に乗り換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。

※マイカーの利用はご遠慮ください。



聴講無料・申込不要

お問合せ | 環境思想セミナー担当 鞍田 崇（地球研・上級研究員）
075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp

主催・総合地球環境学研究所 文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」（里プロジェクト）

次回予告：Vol.28 2010.3（調整中）

「たとえば、とてもきれいなものに包みこまれること—空間と環境のインターフェース」（仮題）

講師：石上純也氏（建築家）



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所（地球研）
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
<http://www.chikyu.ac.jp>